

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果
(公表)

討議年月日:令和 6 年 3 月 26 日

公表:令和 6 年 4 月 1 日

事業所名:コトモ西尾mirai校

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		3	定員までになると、少しきついと感じます。全体活動の時は机等のレイアウトを少しスラしたり、別の椅子を持ってきたりして対応しています。 定員に達した時は狭さを感じる現状がある 中高生の子も歩き回っていると狭く感じる場面もあるため、基本的に座って活動に取り組みめるよう声かけをしている	スペースを考慮した活動
	2 職員の配置数は適切である		3	2人になると回らなくは無いが、manabuの時は特に多く生徒が来ると嬉しいと感じます。特に片方が委員会や研修、会議に入ることもあり、平日でも5人以上は欲しいと感じます。また休日もグループ活動など4人いると助かることが多いように思います。 15人の利用者に対して、職員が3名しかいない。休憩や電話対応などで抜けても良いように4名以上は配置されていると安心	新年度より職員増加に伴い改善予定
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切にされている		3	入口までが階段しかないため、その他バリアフリーにはなっているように感じます 入室するまでに階段があるため、歩き方に不安定さがある子へは階段下まで付き添いを行っている	2Fから3Fへの階段には手すりが設置されている
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加している		3	日々の活動の振り返りや様子を終礼で確認し、次回の声掛けなどに生かしている	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		3	毎年度HUGや紙面で配布して回答してもらっている。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		2	1 ホームページにて公開している	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		1	2 スーパーバイザーからの療育への助言や外部の講師を呼んで講習を受けている	4月より平日にも集団活動の取り入れ
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		3	動画研修やリアルでの療育セミナーを行い、学びを深めている	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している		3	計画等は未熟で教えて貰いながらですが、活動等の計画では気をつけています。 児発管が密にアセスメントを取り、日々職員が書き溜めている様子を参考に計画を作成している	ニーズのある療育の取り入れ
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		3		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている		3	利用者メンバーなどを考慮 様々な種類の活動に取り組みめるように外出や工作、調理、SSTを盛り込んでいる	今後、平日にもSSTなどの取り入れ
適切な支援の提供	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している		2	1 集団活動での支援はよく計画されているが、個人活動は行き届いていない現状あり 平日は時間が短いため、個人の取り組みを重視してサポートをしている。休日は子どもの集中力を加味して活動内容と時間を設定している	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		3	現在、平日は個別活動、休日に集団活動を入れているが、新年度からは平日も集団活動を入れる意向	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している		3	現在、平日は個別活動、休日に集団活動を入れている 個別の課題や集団の中での課題を合わせて計画を立てている	新年度からは平日も集団活動を入れる意向
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		3	特に集団活動での打合せを行っているような取り組み内容を前々から共有していき、当日のイレギュラーにも対応できるようにしている どのような取り組み内容を前々から共有していき、当日のイレギュラーにも対応できるようにしている	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		3	その場での振り返りが難しい場合、ドライブでの記録で共有 必ず終礼を行い、子どもの情報や活動の反省を行うようにしている	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている		3	ドライブでの情報共有 当日出勤していない職員へも子どもの様子を共有できるように、細かく記録を残している	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している		3	子どもの成長に合わせて課題を変えていく 保護者との面談を行い、課題の再確認や現状の共有を行っている	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている		3	取り組み内容から反しないよう日々打ち合わせを行っている	
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している		3	管理者だけでなくその児童のことを知る他職員の参加もあり 支援者会議では状況を把握しているものが出席している	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている		1	2 不登校時や学校でトラブルがあった子の情報共有をすることあり 学校での取り組み等で不安定になっている場合には、担任の先生へ連絡を取り、状況をお伝えしている	
関係機関や保護者との連携	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		1	2 精神的に不安定になっている利用者に対して、保護者を経由してコミュニケーションを取っている	
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		3		
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		1	2 就労を検討している利用者に関しては記録の共有や個別支援会議を行っている	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		2	1 倉石先生の研修などの受講 放課後等デイサービスの連絡会に出席して、情報共有を行っている	
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		3		
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		1	2 放課後等デイ連絡会などに参加しています	
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている		3	お迎え時や、気になる事象が起きた時など特にお話しする お迎えや欠席連絡の際に利用者の状況をお伝えするようにしている	
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている		3	当校舎では行っておりませんが、他の校舎で開催しています	
	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている		3	契約時に行っている	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている		3	可能な限り答えられる範囲で対応している。 保護者と話す機会には、事業所での様子と課題について共有する	

保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3			
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3		すぐに施設に反映するようにしている	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	1	2	お便りなどの発行はしていないが、外出などの行事では別にお知らせを出している 活動などを毎月提示して、利用の申し込みの検討を行っていただいている	
	35	個人情報に十分注意している	3		利用者の個人情報等が目に入らないよう配慮している	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3		障害名を伝えていないご家庭の利用者へは、ご家族のご意向を優先している	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	2	他事業との合同の作品展などにご招待する	
	非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	1	職員間は委員会活動の中で行われているが、保護者へは分からない 全事業所で一括して研修を行なっている
39		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	2	1	全事業所で一括して行っている	
40		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3		虐待防止の研修を定期的を受けている	
41		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3		虐待防止の研修を定期的を受けている	
42		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	2	医師の指示書ではないが、アレルギー食品には関わらせないようにしている 保護者から提示されたものに関して、配慮をしている	
43		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3		小さなことでも子どもが怪我した際などヒヤリハットに記入して、大怪我にならないよう対応を確認しています。 アクシデントがあった場合、ヒヤリハットに記入 全事業所でシートを作成して、情報共有を行っている	